

風の丘墓地公園から③

今回は、「個室タイプ」についてのご紹介です。前回ご紹介した「合祀」とは異なり個別に納骨室をかまえる形になります。

写真のように、区画で区切ったエリアに垂れ桜、金木犀、高野槇をシンボルツリーとして、その周りに石材で作った納骨室を個別に配置し、その中に骨壺のままでご埋葬いただけます。

納骨室に故人様にまつわる記念の物を一緒にお納めすることも、蓋の上にオブジェをお飾りすることもでき、故人様らしくご自由にお祀りいただけます。

自然に還りたいという場合であれば、骨壺でお納めするのではなく納骨室の底板を取り除き、土にお還りいただくこともできます。

納骨室は1霊様、2霊様、3霊様、4霊様など、様々なご要望にも対応いたしておりますのでご安心ください。

次回は植樹についてご案内いたします。

風の丘墓地公園 木村



あとがき

まほろば第39号をご覧いただき、ありがとうございました。

春の陽気に誘われて、桜のつぼみもほころんで、ああ、日本の春って素晴らしいと思う今日この頃。普段は花より団子な私ですが、この時期のお花見は、心もほっこり温かな気持ちになってまいります。

まほろばも、皆様にはほっこり温かな気持ちをお届けできるよう、スタッフ一同励んでまいりますので今後もお付き合いよろしくお願いたします。

出口秀美



お弁当作り



1月末を最後に、私の5年間続いたお弁当作りの日々が終わりました。長女が高校生になり、2年後には次女も高校生となり、最後の1年間は私の方も含め3個のお弁当を作る日々でした。

朝は6時前には起きて、昨夜の晩御飯の残り+何か1品+冷食1品とおかずを詰めて完成です。サンドイッチやオムライスと、趣向を凝らしてみたこともあります。時には、あまりに寂しい内容で、少なからず良心が傷んだこともありました。

けれど、5年間娘たちは一度も文句を言うことなく、私のお弁当を食べてくれました。これから先、もしかしたら社会人になりお弁当を作ると言われる事もあるかもしれませんが、ひとまず私のお弁当からは卒業です。

次女の高校卒業を前に、1つまた1つと今まで当たり前の習慣だったことが終わっていきます。お弁当作りも終わっていく事の1つです。寂しくないという噂がありますが、かと言ってこのまま続けられるかという、それも…。なので、娘達にはいろいろな経験をさせてもらった事を感謝したいと思います。

お弁当作りがなくなって、私の起床時間は1時間も遅くなり、ゆっくり朝ごはんが食べられるようになりました(笑)



宮田昌美

ドリーマー歳祝いイベント!!

年に一度、ドリーマー会員の皆様の中から、今年還暦・喜寿を迎えられた、還暦46組92名、喜寿60組120名、総勢106組212名のドリーマー会員様と、共にお祝いして下さる方をお招きして盛大に開催されました。ベルフォーレ西条のシェフ達が、この日の為に腕によりをかけた料理の数々。鏡開きやものまねショー、皆様の笑顔が輝いていた忘れられない一日となりました。

今年で4回目になる歳祝いイベント、来年も皆様と楽しいひと時が過ごせるよう日々励んでまいります。参加いただきました皆様ありがとうございました。



お問い合わせ
資料請求

フリーダイヤル
0120-44-5880

365日24時間対応しております。
【通話無料】携帯電話でもつながります。
ドリーマーご自宅出張
無料事前相談実施中!!

お急ぎの方は
電話にて
対応いたします。

◆ドリーマーではご葬儀前に必ず全てのお見積もりをお客様に提示いたします。
◆ご予算に合わない場合は、予算に合わせて内容の変更が可能です。
◆後で想定外の費用が発生する事はございません。

ドリーマーの
ご葬儀費用

ちょっとひといき



最近同級生と会う機会が増え、話すことといえば、年のせい何かと健康に関する内容ばかりです。様々な健康食品やサプリの話等、聞いたことのないものばかりで驚かされます。それよりも食事で改善したら?とってしまうほどに…。と言いながらも、私自身今はまっているのが、シリカ水と飲む酢。今回はシリカ水の効果についてお話しいたします。(※注:個人差があります。)

シリカは、皮膚・爪・骨・髪の毛など、様々な部位で存在していますが、不足すると結合組織が弱くなって、爪や骨がもろくなるそうです。体にとって必要不可欠なシリカですが、年をとると減少し、体内で生成されないため、身体の外から摂取する必要があります。

実はシリカ水、色々種類があるようで、僕自身も最初は数種類を飲んでいましたが、最近ようやく自分にあったシリカ水を絞ることが出来ました。何となくですが、以前よりも爪が割れにくくなり強度があがったような気がします。もともと髪は早く伸びる方ですが、以前にも増して伸びる速度や艶が変わったような…。

まだまだ若いと自負していますが、年を重ねるごとに老いも感じる今日この頃。若い子にはもちろんのこと、同級生にだけは負けたくはないので、これからも健康維持と若さを保つ為に色々な事を試していきたいと思えます。

皆さん、健康維持の良い魔法(?)があれば石料までご連絡ください(笑)



石料重信

はなだより~卯月、卯の花~

桃の節句も過ぎ、ようやく春らしくなってきました。4月はイベントも盛りだくさんですね!そんな楽しみがたくさんある4月ですが、他の呼び方を知っていますか?

4月は和風月名では「卯月」と呼ばれます。もともとは旧暦4月の異名でしたが、現在の新暦でもそう呼ばれています。耳にはしたことのある名前ですが、由来は知っていますか?今回は由来や意味についてご紹介いたします。

「卯月」とは、太陰太陽暦(旧暦)で4月の異名とされてきました。現在最も多くの国で使用されているグレゴリオ暦の一つ、太陽暦(新暦)でも同じ呼び方をするのも多いです。数字と「月」で表現せず、その月にちなんだ言葉を使って表すものを「和風月名」と呼びます!なんだかカッコイイ感じがします!卯月とは「卯の花の咲く月」という意味が由来として一番有力な説です。卯の花とは、ユキノシタ科ウツギ属の空木(ウツギ)の花のことです。真っ白で小さな花をたくさん咲かせます。豆腐を作る際の「おから」を「卯の花」と例えて呼ぶ地域もあるそうですね。



※ちなみにこの植物は、枝の中がすぐに中空になることから「空木」と呼ばれるようになったそうです。

5月に咲く花のイメージがあると思いますが、昔の陰暦に置き換えると4月頃に花を咲かせていたようです。他にも諸説由来があり、いずれも春らしく、これから稲や植物が成長していく季節を表すように感じるものばかりです。新年度、新学期が始まる季節でもあり、草木が芽吹き、「始まり」をイメージさせる月ですね。

他にも4月の卯月以外の別名・異名は陰月、植月、卯花月、木葉採月、猛夏、乏月、花残月などがあります。意味が気になる方は是非調べてみてください!

こういった異名は、季語や時候の挨拶に用いる場面があります。四季のある国ならではの和風月名や異名も風情があって良いですね。どこかで見かけた際は、「4月のことだ!」って、思い出してみてください。博識なところを見られるかもしれませんね。

フラワースペースデザイン部

